

会員の皆様へ

一般社団法人 京都社会福祉士会
会長 福富 昌城

新型コロナウイルスの感染が拡大しているなかで、皆様におかれましては、それぞれの職場で福祉実践を続けておられると思います。

三密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避けて、手洗い、うがい、咳エチケット、そして健康管理（十分な睡眠、バランスのよい食事）と免疫力アップを、ということは、すでにそれぞれで留意しておられると思います。ただ、福祉実践の現場では、なかなかそうはいかない場面も多々あります。

福祉実践はご利用者の日常の生活を支える営みですので、この状況下でも普段どおりの支援の提供が求められます。そのための工夫については、職場・職域において情報交換がなされていると思います。必要に応じて、会員間のネットワークも使って、この状況に対応していきましょう。

現時点で、この先がどのように変わっていくかが見えません。こうした予測のつかない状況は、ご利用者様にとっても、そして私たち援助者自身にとっても大きなストレスとなるものです。ご利用者様からの不安の訴えに対応するなかで、私たち自身もまた不安を感じるでしょう。そこから精神的にしんどくなってこられている方もいらっしゃるのではないかと心配しています。そして、それがご利用者様に提供する援助の質の低下につながることも心配しています。

身体的に健康を保つことはもちろんですが、精神的にも安定を保てるように、メンタル・コントロールを心がけてください。自身の状態を平静に保ちご利用者様に接することは、私たちは日常の実践で心がけています。そのスキルを、いま上手に使っていきましょう。そして、支援に活用できるさまざまな情報や方法を共有しつつ、この状況に対処していきましょう。

当会として、新型コロナウイルスに関する情報交換の場として、Facebook のページを立ち上げましたので、一度ご覧ください。また、今後も、会員をサポートできるような取り組みを検討していきます。HP やML で情報提供等をしていきたいと考えていますので、ご活用ください。

Facebook

「京都社士会 新型コロナウイルスに関する情報交換の場」

<https://www.facebook.com/groups/213229333293607/>

